

会員だより

マンホールを開けると“G”が…

2023年8月から約半年間、那覇市上下水道局発注の雨水管きよ更生工事に、現場代理人・監理技術者として従事し、今年2月で完工できた工事についてご報告いたします。

現場是那覇市寄席宮地内の住宅街にあるガープ川が通るボックスカルバート71m区間を更生(モルタル補強)するものでした。

マンホールから地下に入ることは初めての経験だったため、悪臭やGの出現は当然と覚悟していましたが、実際にはそのようなことはなく、地下でGを見かけたのは1匹だけでした。

また、地上は太陽が照りつけて暑いのが当たり前ですが、地下作業で足元には3センチ程度の水位があり、換気のため送風機も設置していたので、暑さとは無縁の現場環境でした。

さらに、現場事務所も目の前の物件の1階を賃貸することができ、パソコン業務をしながら顔をあげると現場の様子がわかるので、ほかにはない最適な環境でした。

受注時の段階では、工事名にある「寄宮地内公共下水道」という言葉を見て、狭い上に現場は汚い、絶対Gがいるという悪い印象しかなく、とても心配しましたが、

株式会社 七和 代表取締役 伊志嶺 匡

実際には環境、監督員、下請業者、先輩技術員などさまざまな面に恵まれ、現場代理人初心者の私にとっては最適な現場でした。

【現場代理人 太田純二】



▶寄宮現場写真

会員だより

現場のCO2対策

会員の皆様こんにちは。当社は皆様のご支援の下、お陰様で令和6年10月に創業75周年を迎えることになりました。長年にわたり「地域発展」・「社会基盤整備」・「快適な環境作り」を重要な使命として建設業を営んでまいりました。

私たちの事業において、工事の安全や品質の他に大きな課題となるのが環境との調和です。特に沖縄は美しい自然に恵まれ、それは後世に残していかなければならない財産です。

しかし時にはこの美しい自然や地球温暖化に影響を及ぼすリスクを抱えているのが建設業でもあります。

当社は「おきなわSDGsパートナー」や「みなとSDGsパートナー」企業として、CO2の排出削減(J-クレジット制度によるCO2のカーボン・オフセット)に取り組んでいます。具体的には工事に使用する機械や通勤車両から排出されたCO2のカーボン・オフセットを実施した事によるCO2の排出削減、珊瑚礁の保全に取り組んでいます。

また社内の照明設備をLED化したことで省エネにつながりました。

南洋土建 株式会社 代表取締役社長 玉城 常二

今後とも各現場でCO2の排出削減に取り組んで行くことで微力ながら、地球温暖化対策に加えて沖縄の自然保護にも貢献してまいりたいと思います。

【常務取締役 花原正樹】



▶①小椋道路橋梁下部工現場



▶②カーボン・オフセット証明書・感謝状

活動報告・トピックス

沖縄総合事務局との意見交換会

『予算確保や労働環境改善など要望』
沖縄総合事務局と(一社)日本道路建設業協会との意見交換会が3月12日、那覇市的那覇第2地方合同庁舎で開かれました。沖総局からは河南正幸次長をはじめ、開発建設部の坂井功部長ら幹部職員14名が参加。道建協本部からは西田義則会長、増田博行副会長兼専務理事ら役員8名、支部からは与那嶺支部長、下川幹事長が参加、活発な意見が交わされました。意見交換では、①公共工事予算の安定的・持続的な確保②道路舗装工事における労働環境の改善③その他(入札・契約制度の改善など)についての議題を提案しました。

予算の安定的・持続的な確保では、沖総局管内のアスファルト合材出荷率が2000年度比で国道(直轄・補助)が139%(22年度)と増えていますが、県道44%(同)、市町村道21%(同)、高速道路3%(同)に減少していると、道路関係予算の長期的かつ安定的な確保、投資規模のわかる中長期計画の策定などを要望しました。

また、労働環境の改善では、会員に実施したアンケートで直轄舗装工事が適正工期だったかとの問いに対し、適切が全国63%(適正26%、概ね適正37%)、沖縄44%(適正16%、概ね適正28%)だったと説明しました。

意見交換後の、自由討議では、協会から製造温度を最大30度低減することで、CO2が約20%削減できる「中温化アスファルト合材」の使用促進などが提案されました。



▶西田会長 挨拶

▶河南次長 挨拶



▶意見交換会状況

第211回道路美化・清掃活動

天候不良のため中止

3月19日(火)10:00からの道路美化・清掃活動は前日の天気予報で天候不良が予想されたため中止となりました。

今月は前月の分も含め活動、頑張りましょう。

今月の予定

- ①第1回正・副委員長会議
4月5日(金)11:00～13:00支部会議室
- ②第212回道路美化・清掃活動
4月16日(火)10:00～11:30明治橋周辺国道
- ③令和5年度会計監査
4月19日(金)15:00～16:00支部会議室
- ④第1回幹事会(役員会)
4月25日(木)12:00～14:00ムーンオーシャン 宜野湾

【事務局長 交代】

令和6年4月1日付けて、末光事務局長の後任となりました照屋則夫(てるやのりお)です。

微力ではありますが、会員の皆様のお役に立てるよう頑張らせて参ります。よろしくお願いたします。

【土木工事電子書類スリム化ガイド】作成 ～建設業における働き方改革を推進～

沖縄総合事務局開発建設部では建設業における働き方改革を推進しており、その一環として、受発注者間における作業書類の役割分担の明確化、書類の電子化等することで工事書類のスリム化を行い、受注者の工事書類の作成作業の軽減を図ることを目的として、関連団体の意見を踏まえ「土木工事電子書類スリム化ガイド」を作成しました。

工事書類スリム化のポイント

- 工事書類の原則電子化(ASP活用)
- 受発注者間での作成書類の役割分担を明確化
- 計画の見直し、構造計算等は、発注者の責任で実施
- 作成・添付不要な書類の明確化
- 書類の二重作成・提出防止
- 書類限定検査の活用
- 遠隔臨場を活用し、段階確認、材料確認、立会の効率化

詳しく下記HPをご覧ください
<https://www.ogb.go.jp/kaiken/koji/007772>

編集室から/Y.S

『新年度』

四月から新年度でいろいろな節目があり、身の周りが慌ただしくなっています。

四月には不思議な高揚感があります。人事異動や入学式、入社式など人生の新しいスタート台に立つ人も多いと思います。新しい環境で新たな出会いに胸はずませることも、また、不安を感じることもあるでしょう。それぞれの思いを胸に新年度が始まりました。